



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

ツバル

— 2016年度 地域巡回機能回復等支援事業 —
(終了時評価—2017年4月)

事業概要

国名	ツバル
プロジェクト名	2016年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2016年6月10日～2017年3月31日
相手国政府覚書署名省庁名及び実施機関	覚書署名省庁：天然資源省 実施機関：天然資源省漁業局

プロジェクト実施の経緯と背景

ツバル政府は、「2016～2020 国家戦略 TE KAKEEGAIII」の「天然資源」に関する目標として天然資源の管理及び持続的利用による社会経済的リターンの最大化を掲げており、水産分野では以下の8項目をその具体的内容としている。

- (1) 漁業収入の増大
- (3) 外国漁船の船員育成
- (4) 漁船オブザーバー
- (5) WCPFC 規則の遵守
- (6) EU 漁業規則の遵守
- (7) 漁獲物衛生基準
- (8) 沿岸漁業保護



この漁業振興政策のもと、ツバル政府天然資源省漁業局は、各種の漁業振興事業を実施している。しかし、同局が所管する船舶（漁業支援船）やワークショップ、製氷施設及び地域漁業センター等の水産関連施設は、故障や老朽化或いは運営管理の不備により本来の機能を発揮することが出来ず、漁業振興計画の推進に大きな支障をきたしている。漁業支援船は、漁業活動を含む水産関連の業務をはじめ、人命救助から離島への物資の供給、運搬を行うなど、重要な役割を担っている唯一の船である。本船が停止すると特に離島に対する支援が困難となり、常に稼働（運航）できる体制を保つ必要がある。

このため、ツバル政府は、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び技術移転並びに漁民組織への指導・助言についての要請を行った。

財団は、この要請に応え、ツバル政府天然資源省の漁業振興計画を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	ツバルにおいて漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関連施設の修理・修復及び技術移転 フナフチにおける水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上 2. 関連組織への漁業普及指導 フナフチにおける水産関連施設の管理・運営の改善及び活性化・自立化の促進
成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漁業局漁業支援船マナウイ号の修理・修復及び技術指導 マナウイ号の保守・修理・修復及び当該施設の維持・管理技術が向上する。 2. 漁業局職員及び漁業者に対する水産物加工指導 漁業局職員及び漁業者に対し水産物加工技術を指導することにより、活性化・自立化の促進が図られる。
活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漁業局漁業支援船マナウイ号の修理・修復及び技術指導 主機の整備、航海機器の機能回復等を行うことにより修理・修復し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行う。 2. 漁業局職員及び漁業者に対する水産物加工指導 漁業局職員及び漁業者に対し、木製燻製箱、魚乾燥器の作成方法及び燻製魚の作成に関する技術指導を行う。
投入	財団側 ・ 専門家： チームリーダー兼冷凍機関・漁船機関 1名

	<p>冷凍機関・漁船機関 1名 漁業開発アドバイザー 1名 航海機器・技術者 1名</p> <p>計画： 第1回巡回指導：2016年10月（7日） 第2回巡回指導：2017年3月（14日）</p> <p>実績：</p> <p>〔第1回巡回指導〕 チームリーダー兼冷凍機関・漁船機関 1名 2017年2月2日～3月2日（28日） 冷凍機関・漁船機関 1名 2017年2月14日～3月2日（16日） 漁業開発アドバイザー 1名 2017年2月16日～2月23日（8日） 航海機器・技術者 1名 2017年2月16日～2月23日（8日）</p> <p>延日数 計画：84人・日 実績：60人・日（計画対比：71%）</p> <p>・事業費： 予算額 10,449千円 実績額 9,737千円（予算対比：93%）</p> <p>・主な資機材： 主機の整備用予備品一式</p> <p>相手国側</p> <p>・カウンターパート：</p> <p>(1) マナウイ号修理・修復及び技術指導 Chief Engineer of Manui 1名 Foreman of Fisheries Workshop 1名 Assistant Mechanic of Fisheries Workshop 1名 Captain of Manui 1名 (2017年2月2日～3月2日)</p> <p>(2) 漁業局職員及び漁業者に対する水産物加工指導 Fisheries Officer 1名 Fisheries Officer, (NAPA Project)) 1名 (2017年2月16日～3月2日)</p> <p>・プロジェクト関連予算・土地、施設等： マナウイ号修理・修復等技術移転に必要なワークショップ等漁業局施設の提供及び水産局当における電気・水道・電話等の無償提供</p>
--	--

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、ツバルの国家開発戦略に基づき、漁業局の活動を支援するものであり、同国政府及び対象地域のニーズに合致しており、妥当である。

2. 協力ニーズ(対象国、対象地域)との整合性

ツバル国政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請されており、事前調査においてマナウイ号の修理・修復及び技術指導並びに漁業局職員及び漁業者の水産物加工技術指導に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、船舶の修理・修復に伴う廃棄部品等の扱いについては適切に行い、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象施設は、多目的利用船であり、周辺水域の水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではない。

また、水産物加工品についても従来の塩乾干しや伝統的な燻製による加工の代替策となるものであり、水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではない。

5. その他(プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等)

特になし。

◆ 効 率 性

1. 事業費及び実施期間

事業費、実施期間は計画内に収まったことから効率性に問題はなかった。

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

巡回指導は、当初10月と3月に実施を予定していたが、資機材の納入が見込みより遅れ、2月に1回実施することとなった。しかしながら、適切に計画を見直したことにより計画した日数以内ですべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を發揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

上記1のとおり、資機材の納入時期に合わせ事業の実施時期を変更するなど、適宜スケジュールの見直しを行い年度内に事業を完了させた。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等） 特になし。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：

(1) 関連施設の修理・修復及び技術移転

フナフチにおける水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルは向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

(2) 関連組織への漁業普及指導

フナフチにおける水産関連施設の管理・運営の改善及び活性化・自立化の促進

漁業局職員及び漁業者に対し、木製燻製箱、魚乾燥器の作成方法及び燻製魚の作成要領に関する技術指導が行われ、カウンターパートの基礎知識及び技術レベルが向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

2) その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

(1) 漁業局漁業支援船マナウイ号の修理・修復及び技術指導

マナウイ号の修理・修復を行い、漁業局のカウンターパート及びマナウイ号の船長らに対し修理・修復に係る技術指導が行われたことにより、技術レベルが向上し、マナウイ号の運航が円滑になった。



〔漁業局漁業支援船マナウイ号〕

<期待された成果>

マナウイ号の保守・修理・修復及び当該施設の維持・管理技術が向上する。

(2) 漁業局職員及び漁業者に対する水産物加工指導

漁業局のカウンターパート及び漁業者に対し、木製燻製箱、魚乾燥器の作成方法及び燻製魚の作成に関する技術を指導したことにより、伝統的な魚の保存方法（塩蔵）以外の方法に触れ理解した。漁獲物の可食時間の延長にもつながる技術であり、将来的に、離島漁業者等による食品加工の活性化、経済的自立化の促進が図られることが期待される。



〔専門家による燻製加工用漁獲物の下準備の指導〕

<期待された成果>

漁業局職員及び漁業者に対し水産物加工技術を指導することにより、活性化・自立化の促進が図られる。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、マナウイ号の修理・修復に係る水産局カウンターパート及びマナウイ号の船長らの技術が向上したこと、また、漁業局職員及び漁業者の木製燻製箱、魚乾燥器の作成方法及び燻製魚の作成技術が向上したことから、プロジェクト目標は達成された。

今回は初歩的な燻製魚の作成方法を指導したが、ツバル政府高官は将来的にはマーシャル諸島共和国に定着しているツナジャーキーの様な製品の定着を希望している。今後、難

易度の高い燻製魚の作成へ挑戦できれば上位目標「ツバルにおいて漁業生産性が向上し、小規模漁業が発展する」の達成に、より一層の効果を及ぼすことが見込まれる。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、マナウイ号が順調に稼働するようになった。離島との連絡や漁業製品の運搬などの直接的な効果のみならず、離島の急病人の輸送や漂流漁業者捜索などの活動を通じて、離島漁村社会への間接的な効果も見込まれる。

また、燻製魚作成技術について、漁業局職員は、今後、漁業者を対象に普及していく予定である。離島漁民の首都への輸送手段が様々な制限を受ける中、保存食としての流通が見込まれ、経済に対する直接的な効果が見込まれる。

3. その他(ターゲットグループに対するインパクトやプロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等)

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは水産局の職員で、プロジェクト終了後も引き続きマナウイ号を担当する予定である。

また、供与された資機材は、マナウイ号の稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も引き続き有効に活用される。ツバルに従来からある塩干品や燻製より質が良く、定着可能な燻製技術を指導したことにより有効に活用される。



〔完成した燻製箱とカウンターパート〕

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトによりマナウイ号が修理・修復され、継続的な活動を可能にする環境が整備された。

また、ツバル政府はマナウイ号の継続的運用が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識し、財政支援を積極的に行うこととしている。従って、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。更に、カウンターパートは早々に離島で燻製加工指導を行う予定である。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）
特になし。

以上